



人類に  
奉仕する  
ロータリー

## パワー浜松ロータリークラブ週報

クラブテーマ: 全員参加で、奉仕の理想を実現しよう!

パワー浜松ロータリークラブ (2016-17年度 会長: 近藤 雅彦 幹事: 田淵 邦彦)  
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松 4307 号室  
Tel: 053-452-0800 Email: info@power-hamamatsurc.jp  
http://www.power-hamamatsurc.jp

創立: 2002年10月22日 認証伝達式: 2003年4月29日 スポンサークラブ: 浜松中RC

### 第645回例会 10月 11日 AM7:30~8:30

オークラクトシティホテル浜松3Fチェルシーの間

- 司会: 原田道子 森俊彦 山下俊彦
- 点鐘: 近藤 雅彦
- ゲスト: 加藤修一様
- 議事: 会員選考維持部会「地民の説話」

〈出席報告〉

会員数 79名(内 出席免除会員1名)  
出席数 55名 出席率 70.51%

前々回出席率 87.18%

#### ■会長挨拶

先週はノーベル賞ウィークということで、生理医学賞に大隅良典さんが受賞されました。3年連続日本人が受賞という快挙となりました。以前にもお話したことがあります。一昨年ノーベル賞を受賞された天野教授は私と浜松西高の3年生の時のクラスメートなのですが、一緒のクラスにいたというだけでほとんど接点がありません。一つだけ共通したことがあるとすれば尊敬する先生という点です。彼のインタビューによると、尊敬する先生として一緒にノーベル賞を受賞された赤崎先生をあげられていたのは当然として、高校の時の担任であった伊藤保先生を挙げられていましたが、その点については私も同じように考えていました。今となっては伊藤先生がどのように素晴らしい先生だったのか具体的には覚えていないのですが、数学の先生で教え方が非常にうまかったことは覚えています。また、とてもユーモアのある先生でもありました。まあ私は1年間だけの担任でしたが、天野教授はおそらく3年間、伊藤先生が担任で卒業後も親交があったそうです。その辺は私と天野教授の大きい違いではありますが、尊敬できる先生に出会えたことは、実は大変幸運なことだとこの年になって感じています。

#### ■幹事報告

第645回例会、幹事報告を致します。

本日レターケースに入っております、配布資料は、本日の卓話をされます加藤様のプロフィール、受付で配布しております今回の議事に使用する「妖怪とは・やまんばの里」2枚の資料。

それから10月~12月会費請求書、

防潮堤植樹活動参加のご案内、出席用紙の4点です。

#### ■委員会報告

社会奉仕部会 堀内会員

ねむの木カレンダーの注文を受付けていきます。詳しくはメールにて配信いたします。

11/12 認知症サポーター養成講座についての意味合を次回から数回に分けて奥山奉仕PJ部長に説明して頂こうと思っております。



植栽事業担当部会 小澤会員

活動の日程の変更があります。11月27日に予定しておりましたが12月4日に変更・決定となりました。詳細については植栽をする場所の造成が完了次第、関係各所と打ち合わせ後ご連絡致します。

ゴルフ同好会 村田会員

昨日、今期2回目の青空例会を行い15名の方が参加して頂きました。優勝は安藤会員でした。3回目の日程ですが、植樹事業の予定変更に伴い11月23日に変更します。

■スマイル

**原田道子会員**：学生の時に学友会の役員が15人いました。卒業した時に15人会という名前で毎年2泊3日の旅行を行っています。北海道・秋田県・新潟とか日本全国から来ます。今年も15人のうち11人が参加しました。女性だけで学生のころにもどりワイワイ・ガヤガヤ楽しいひとときです。私も毎年参加しています。元気なうちに全てを忘れて遊びます。

**匿名希望**：出席委員会の皆様の早起きに感謝してスマイルです。

**近藤会長・田淵幹事**：多方面にご活躍されております、コピーライターの加藤修様、本日は、早朝より当クラブにお越し頂き、誠にありがとうございました。治一郎のバームクーヘンを仕掛けされました加藤様を迎えまして「地民の説話」と題して、卓話を頂きました。

地元に残る伝説、民話とその裏にある意外な忠実を知る機会を得て、更に郷土愛が強くなれるよう、ロータリー活動に力を入れて参りたいと思います。今後、加藤様の益々のご活躍とご健勝を心より祈念致します。

**青山素久会員**：本日ホーム連続出席300回を達成しました。だれもほめてくれないので・・・スマイルします。



**牛田 悟会員**：秋風に肌寒さを感じる頃となりました。そこで思い出すのが「年賀はがき」ですね。今年もご予約を承ります。例会の時に受け渡しができますので郵便局まで出向く煩わしさがなくなります。必要枚数をご記入の上お申し出ください。併せて年賀状印刷も承ります。11月1日からの販売となります。よろしく願い申し上げます。

**安藤幸史会員**：昨日クラブゴルフ大会で優勝しました。スタート時に他グループの人達とラウンドすると思い込んで仲間とはぐれゴルフ場の中をウロウロしてやっと思間に合いました。スタートの組だったのを最後の組に入れ替えて頂き恐縮しながらラウンドしました。幸い優勝だった様で感激です。

■議事

**加藤 修一 様卓話 「地民の説話」**

**担当：会員選考維持部会**

おはようございます。ご紹介頂きました加藤でございます。先ほど認知症のお話しがございましたが、私も70才になりますがこの歳になると体もいろいろと悪いところが出てくるのですが、私は仕事の関係上もあると思いますがおかげさまで悪いところは一つもありません。

今日は、妖怪伝説についてお話したいと思います。今年の6月下旬に静岡新聞社から県内の「しずおか妖怪・奇談をたずねて」と言う本が発売されております。¥1200ですが皆様お買い求めくださればと思います。まずはじめに、この本の取材の5分の2ぐらいを担当したのですが、皆様もご存じの通り妖怪というのはいくつもの妖怪があつて水木茂が妖怪ブームを起こしましたが、水木茂は1000体くらい妖怪の絵を描いている。ゲゲゲの鬼太郎はそのうちの133体出場しているということで、静岡県内の妖怪をこの本の中からいくつか紹介していきたいと思ひます。

まず、妖怪とは自然の中で人間が感じる不思議な体験が一人ではなく大勢の人が同じような体験をすると妖怪になってくる。いい例が「鬼」である。鬼は中国から伝わったとされるが日本の鬼は隠れた魂と書いて「<sup>おに</sup>隠魂」と読みます。悪霊を払い花祭りに舞を舞ういい鬼です。

次に、天狗です。天狗は山の中の峰ごとに住んでいて山に行くとき不思議な音・声・火の明かりが見えたりいろいろな姿が見える。鼻高天狗・烏天狗などがあります。

妖怪「浪小僧」…これは遠州の七不思議にもあるが魚が取れないのは浪小僧のしわざとこらしめたら台風が来る前に浪打際がゴーゴーと音をたててその音が天竜まで聞こえたとされています。

「雷獣」…掛川市菌ヶ谷のおへそ山にモニュメントがありますが、尾が2本脚が6本のキツネとねずみを合わせ



たような妖怪です。水飢饉の時に雷獣のおへそを拝むと雨を降らせてくれます。

「海ぼうず」…お盆の時期に海から目だけが出ている妖怪で船を転覆させていました。お盆の時期くらいは漁を休ませるために出てくると言われていました。

「だいだら法師」…ガリバーの伝記の様に人間が大きくなってみたいという巨人願望。

「河童」…水でおぼれる人がいる。尻子玉をとられると水難にあう。河童の腕を切って返すかわりに膏薬の作り方や骨つぎの仕方を教えてくれました。

「龍」・「大蛇」…川の深いところと沼に住んでいて神秘的「鶴」ぬえ・鶴がなくと奇病が発生します。頭がサルで胴がトラ尾がヘビの妖怪。

「怪物ヒヒ」…若い娘を食う。

「やまんば」…中世からの話。山の神が落ちぶれたものです。旅人を食べたり、子供も襲います。牛や馬の血を吸いますが、反面優しい人柄もあります。佐久間では藤の木から繊維を取出し、糸を紡いだり、織って朝廷に献上しました。子守が好き、機織り指導をしたりして手伝うので近所の人に慕われていたそうです。

やまか山香地区には山姥神社信仰が古くからありました。浅間神社山頂や山香小学校の裏に神社の後があります。

内山真龍と柳田国男によってこの地区の中世の歴史を紐解くとやまんば伝説が生まれた理由がわかってきます。山姥と3人の子供、親子で南朝方について街道を守っていました。北朝側、足利氏が強くなるとこの親子を抹殺しなければ悪者に仕立てる陰謀。噂を流布しました。

佐久間山香地区は信州街道の要所でした。淵の水青く急斜面の集落です。浜しよい祭り、かつて久根鉾山<sup>くね</sup>があり、江川卓氏も中学時代に居ました。

今も昔ながらの片桐鍛冶屋健在。旅館や雑貨店、古い昭和の雰囲気。美味しい龍頭山の湧水、北条峠の手打ちそば、とじくり、栃もち、米山こんにやく、伝説を書いた看板や円空彫りのモニュメントもあります。明光寺近くにはやまんばの爪痕もあります。

ところで私は最近「紙芝居」をしました。子供達は肉声で語ると、目を丸くして聞いてくれます。昔は文字が書けない時代もあり言葉で伝え残しました。今でも「民話語り」という行事が残っており、大人たちが真剣な眼差しで子供に三日三晩、必死に語るそうです。

ですから、ぜひ皆さんも家庭内に於いてお子さんと目と目を向きあって、真剣に話す…という機会を設けて頂きたいと思います。

お時間となりました。

本日はお招きいただきまして、誠にありがとうございました。

